

ドライブの楽しみが広がる ジファーと過ごす週末

ルーフトップを有効活用した、イタリア生まれのマジョリーナ。今回は週末を利用して、長野県美ヶ原高原へ出かけてみた。ここでもマジョリーナが大活躍だ！



◆思い出の丘でひと休憩。さらに高いルーフトップから松本市街がよく見える。ちなみにここはオートキャンプが禁止されている



◆心地よい美ヶ原高原の一本道を爽快に走りぬける

宿泊だけじゃない！
休憩場所に変身

イタリア生まれのマジョリーナ。このルーフトップテントのいちばんの利点は「気軽にどこでも宿泊まりができる」ということだ。編集部ではこのマジョリーナをフルシーズンにわたって使用し、さまざまなキャンピングをレポートしている。レポート3回目は、週末を利用して気軽にドライブに出かけてみようということになった。マジョリーナを積んだランドクルーザー80に加えて、今回はマジョリーナの弟分、コロンブスをアトレーに積み、長野県・美ヶ原高原に向かった。下界が30度近い気温だというのに、美ヶ原高原は寒いくらい。さまざまな高山植物が咲き乱れる丘を、心地よい風が吹き抜けていく。途中、眺望が見



事な「思い出の丘」でひと休み。ここではキャンプができないが、他の観光客に邪魔にならない場所ならばルーフトップテントを広げておさまらないうち。マジョリーナの恋を開放すると、北アルプスの山々と松本市街が一望できる。さらに高いクルマの屋根から見る景色は最高だ。



◆今回はマジョリーナとコロンブスの共演。2台向き合わせて「こんにちほ」

マジョリーナだけじゃない 軽自動車にも積めるコロンブス

ジファー通信初期号のジファー・コロンブス。マジョリーナよりも小さいサイズだが、それゆえにそのメリットは大きい。まず、コロンブスは軽自動車カブサイズ/大人2名/本体重量45kgだ。また、ダンバーがついているためにテント開閉もとても簡単で、後部のロックを外すだけでワンタッチでテントを展開できるので、さらに楽しみが広がる。

◆コロンブス「カブサイズ」130X210X30cm(展開150cm)



◆マジョリーナよりさらに高いコロンブスの全景



◆ダンバーが付いているので女性でも軽々と開閉が可能です。



◆ポップアップ式のコロンブスは2人で広々と寝られる広さだ



◆「コロンブス」のカブサイズは軽自動車にも気軽に積めるサイズ